



「PLEND!」に携わる学生たち

豊橋学生フリーペーパー PLEND!

学生

地域貢献事業

第1回

2017年3月に学

生による学生のためのフリーペーパーが創刊した。取材、編集、デザインを手がける「豊橋学生フリーペーパー PLEND!」は現在、1〜4年の学生19人で活動する。当初は、豊橋市内に

キャンパスを置く豊橋技術科学、愛知、豊橋創造の3大学の学生有志らが協働して始まった。2年目からは、愛知大学の学生地域貢献事業に採択され、フリーペーパーの制作を続けている。

「PLEND!」発行の背景には、名古屋へ向いていた学生の目を、豊橋に向けて、豊橋に活かすことで活気あふれるまちにしたいという思いがあった。

「豊橋で、遊べ」「西駅で呑(の)もう!」など、若者が遊ぶ場所としてのイメージの少ない豊橋の楽しみ方を提案。豊橋出身でない学生がまちに繰り出すきっかけにしてもらおうと、市内の飲食店や美容院、アミューズメント施設、観光地などを紙面で紹介している。

「PLEND!」は、ページごとのテーマもバラバラ。今年度は、初めて

それは、作り手の熱量やセンスがそのまま伝わるように。あくまで、学生目線でのまちの姿をつづることが「PLEND!」の魅力だ。「取材することで見聞や驚きがあり、ネットにある以上の情報が紙面を通じて届けられたときにやっています」とメンバー。

取材地域をターゲットで決めた。TVの長寿番組を彷彿とさせるこの決め方が、思いもよらない出会いを生み、「若い子でも楽しめるいいところ」が豊橋にはまだまだあると思えました」と話す。

活動は「PLEND!」の発行だけでなくどまらぬ。長野県飯田市にある南信州新聞社が発行する情報誌「三遠南信BIZ」とコラボしながら、長野の和菓子を食べたり、中

年の男性向けに豊橋の飲食店を紹介したりして、地域を越えた活動も始まった。SNSが発達し、情報収集が簡単になったことで、学生たちは行き先を決めたり、スケジュールを組むことも多い。だからこそ、代表の3年、今井ひなのさんは「記事を読んで、ぶらり豊橋でいくあてのない旅をしてほしい」と願う。

※協力・愛知大学



「PLEND!」の編集作業

学生のためのフリーペーパーを発行